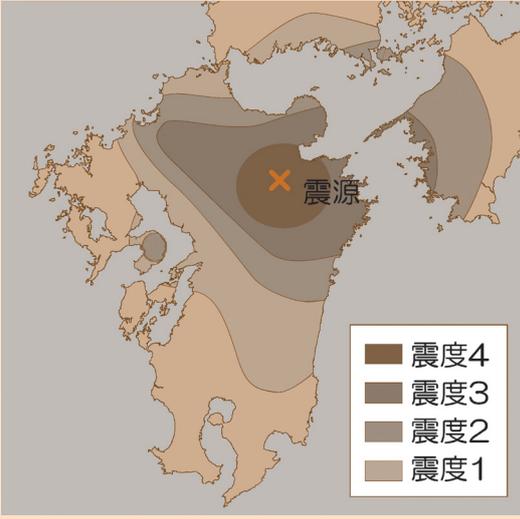


## 揺れやすさマップ

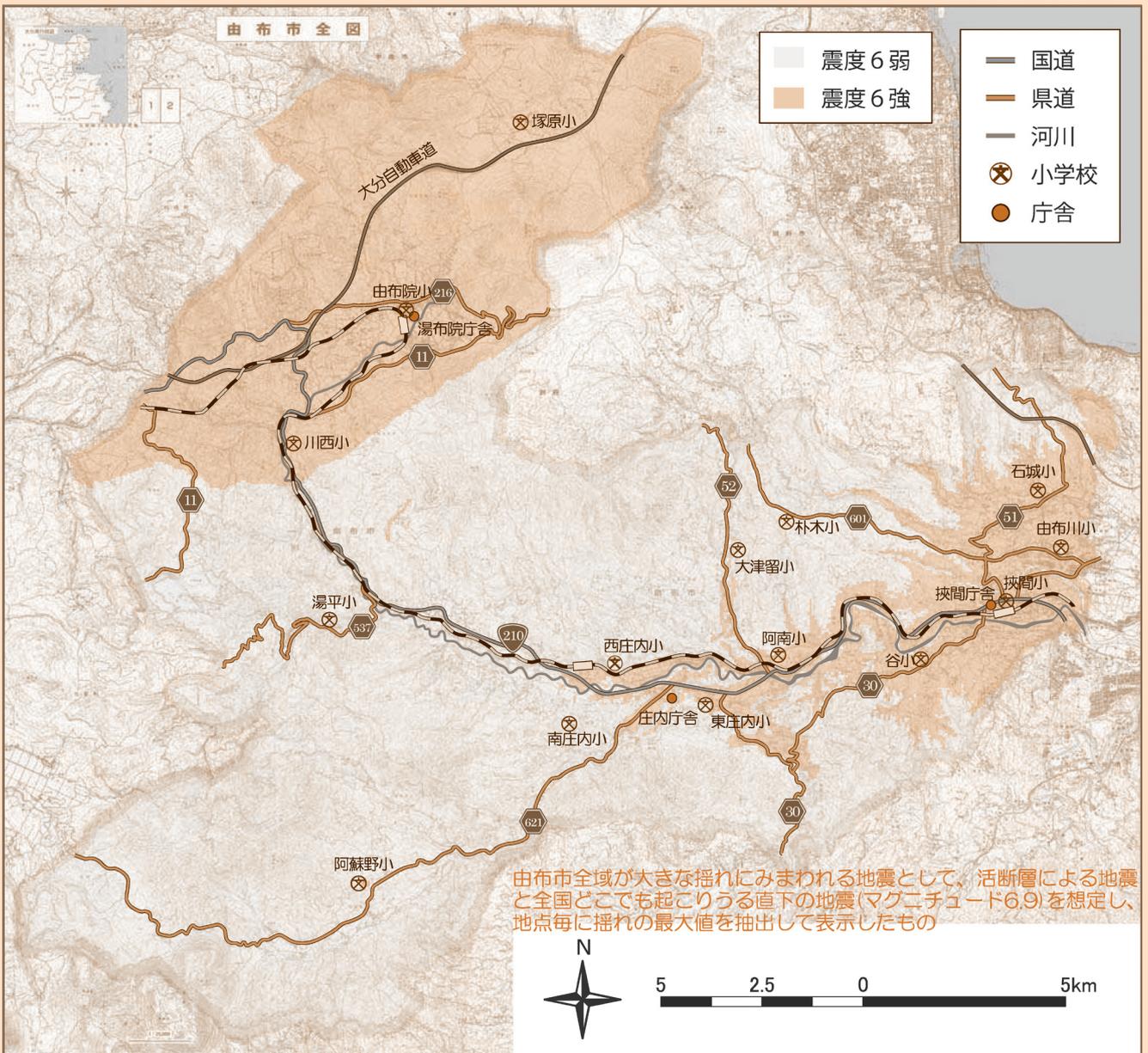
大分県内では、たびたび地震により多大な被害を受けています。昭和50年（1975年）4月に発生した大分県中部を震源とする地震では、由布市も大きな被害を受けました。

この地震による由布市の被害状況は、負傷者11人、建物全壊31戸、半壊63戸、道路破損78カ所で、特に震源地に近い庄内町直野内山地区では被害が大きかったと記録されています。

このマップでは、由布市に大きな被害が想定される地震について、一定の仮定のもとに震度を求めており、それぞれの地域で起こりうる最大震度を表示しています。



昭和50年 大分県中部地震の震源と震度分布（湯布院では震度5が観測されました。）



弱 ↑	震度6弱	立っていることが困難になる。固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。多くのドアが開かなくなる。
↓ 強	震度6強	立っていることができず、はわないと歩くことができない。固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸がはずれて飛ぶことがある。